

看護学雑誌 第59巻 総目次

1995年1-12月

(表示は、題名：筆者名、号数、開始ページ)

●特集

看護学生を迎える病棟の若い友へ

看護学生を迎える病棟の若い友へ：日下隼人 1, 18.
学生は「桃」なのだから——臨床現場の立場から：蝦名
美智子・角田直枝・土田美智子, 1, 22.
看護のおもしろさが伝わる実習とは——教育者の立場
から：安酸史子, 1, 28.
[覆面座談会]そんなこと言われたって……卒業2-3
年目の看護婦が学生時代を振り返って思うこと, 1,
33.
臨床指導の経験から：宮子あずさ・菅蒲沢幸子・菅井
亜由美・長谷川久子, 1, 38.

看護診断—臨床との接点

[座談会]看護診断を臨床にどう生かすか：岩井郁子・
黒田裕子・松浦真理子・松田美紀子, 2, 114.
看護診断からフォーカスチャータリングへ——米国の
臨床における現在の焦点：Yoshiko Leibowitz, 2,
126.

見直しすすむ交替制勤務

変則3交替制勤務実施1年を経過して：寺川日出子・
小畑三千代・岡田君子, 3, 210.
今、なぜ2交替制勤務を求めるのか：甲屋早苗, 3,
216.
変則2交替制勤務への試み：佐藤清江, 3, 220.
同一病棟で3交替制勤務と変則3交替制勤務を選択で
きる制度を実施して：渡辺咲子・大関京子, 3,
224.
時代の流れの中で考える交替制勤務：高橋美智, 3,
228.
[コラム]よりよい看護はゆとりある心から——私たち
のアケ時間, 3, 232.

図書室に行こう！

看護文献と図書室の活用：今田(伊藤)敬子, 4, 298.
病院図書室は看護婦さんにどんなサービスができる
か：野原千鶴, 4, 304.
病院図書室での資料の探し方：及川はるみ, 4, 310.
二次資料を使って看護文献を探してみよう：及川はる
み, 4, 316.
看護基礎教育における図書室利用教育の必要性：石川

道子, 4, 321

日本的看護提供方式を探る

看護体制の変遷と院内リーダー研修の意義——チーム
ナーシングから受け持ち主体チーム制へ：井上弘子,
5, 442.
病院独自の看護方式の模索——KNS(駒込ナーシング
システム)を導入して：藤本幸三, 5, 447.
いかにしてプライマリナーシングを受け入れていった
のか——北里大学病院における看護方式の変遷：野
地金子, 5, 451.
モジュール型プライマリナーシングを全病棟で実施し
て：治家邦子・多田美恵子・高森勝子, 5, 457.
機能別看護方式から固定チームナーシング方式へ変え
て：山本生久子, 5, 461.
患者・看護婦が満足する看護方式の実践：永松郁子・
多田久美・三隅都起子・山本道子, 5, 465.

変化の時代に入った看護労働市場

[対談]変化の時代に入った看護労働市場：奥村元子・
荒木裕一郎, 6, 554.
[ルポ]看護婦が余っているって、ホント？：栗原知女,
6, 560.
看護職員の需給見通しと今後の課題：中村吉夫, 6,
566.

がん患者への継続看護——病棟から外来、在宅への流れ

がん患者への継続看護の重要性——乳がん患者の事例
を通して感じたこと：大島弓子, 7, 642.
がん患者への継続看護が契機となった外科プライマリ
ナーシングへの移行——日本赤十字社医療センター
外科外来の取り組み：原幸枝・武田美登理, 7,
648.
がん慢性期患者の継続看護——在宅療養指導料活用の
視点から：数間恵子, 7, 652.
在宅がん看護への移行をスムーズにするシステム——
東札幌病院の取り組み：渡辺睦子・長谷川美栄子,
7, 659.

精神科的問題をもつ患者と向き合う

変わりつつある精神科看護——収容から開放への流れ

のなかで：石田昌宏，8，730.

精神疾患とはどのような病か——一般病棟で見られるケースを中心に：野村総一郎，8，735.
一般病棟における精神看護①——対応に苦慮する患者の精神的問題とそのアセスメント：野末聖香，8，741.
一般病棟における精神看護②——精神的問題をかかえる患者へのケアの実際：野末聖香，8 747.
一般科病棟から精神科に異動して：富士千代・坂下利香，8，753.
一般診療科受診患者における精神的問題の動向——WHO 国際共同研究の結果から：中根允文・田代孝子，8，756.

いま，癒し手としての看護について

いま，なぜ“癒し”なのか：上野圭一，9，826.
癒し手としての看護職：平北雪子，9，830.
看護における“癒し”の技術：アメリカの実践：俣野とわ子，9，834.
ロジャース理論にみる，癒しのプロセスとしての看護：坂口千鶴，9，838.
患者の目でみた医療と癒しの関係：松木玲子，9，842.
[文献紹介]「治癒」の背後にあるものを求めて：杉山克己，9，848.

看護のレベルアップと看護補助者導入と——横浜総合病院の取り組み

看護補助者に積極的に対応することで看護レベルを高める——看護補助者加算はなくとも看護サービスの向上のために：桃田寿津代，10，926.
看護補助者業務内容とその運営・教育の実際：迫田愛子・土田美恵子・佐藤和江・児玉寿美子，10，933.
看護補助者の導入が現場の看護婦に与えた変化：杉泰子・吉本幸恵・浜口純子・甲斐田真弓・紀太育子，10，933.
看護チームの一員として——新趣向「ヘルパー会議」・看護補助者さんのよががお，10，940.

医療の壁・医療者の壁——外国人患者を迎えるとき外国人と医療を結ぶ法・制度の現実：早川寛，11，1018.
外国人患者との「ことば」の障壁を乗り越えるために：小林米幸，11，1022.
文化の違いが心の世界に及ぼす影響——精神神経科的アプローチがとらえる外国人患者の深き悩み：桑山紀彦，11，1026.
[座談会]ニッポンの医療——私たちはこう感じています：出席／イラン，フィリピン，セネガル，バンラディシュ出身者・小林賢吾・鳥井一平・司会／川崎哲，11，1030.

使って便利な看護用品

排泄の援助に関するもの：12，1114.
清潔の援助に関するもの：12，1119.
食事の援助に関するもの：12，1122.
移動に関するもの：12，1124.
点滴・注射に関するもの：12，1127.
バイタルサイン・検査・測定に関するもの：12，1128.
消毒・殺菌・洗浄に関するもの：12，1132.
吸引・吸入に関するもの：12，1133.
ベッド・椅子に関するもの：12，1135.
褥瘡予防・皮膚保護に関するもの：12，1137.
在宅介護用品のすぐれもの：12，1139.
その他：12，1141.

●特別掲載

カルペニート，看護診断を語る

専門看護への看護診断の影響：リンダ J カルペニート・[訳]ライダー島崎玲子，4，326.
看護診断：What, Why and How：リンダ J カルペニート・[訳]ライダー島崎玲子，4，329.
基礎教育における看護診断の教育方法：ジャネット R ウエーパー・[訳]江川隆子，4，336.
臨床現場における看護診断—看護管理者の視点から：エレノア H ボウコウスキー・[訳]関戸好子，4，343.
わが国の看護診断における課題：松木光子，4，349.
看護診断の国際的潮流：リンダ J カルペニート・[訳]ライダー島崎玲子，4，355.

●緊急特報

阪神大震災，その時看護は…

自分には何ができるか，何を求められているのか：黒田裕子，5，470.
災害医療の陰で地域を追われるお年寄たち：道上圭子，5，472.
阪神大震災の中での分娩体験：吉田美穂・脇本和美・吉永加代子，5，474.
その時，高度医療の現場では——神戸市立中央市民病院集中治療部からの報告：浅川珠美・大森幸子・西海靖子，5，476.
看護婦に寄せられる“信頼”——避難所，そして訪問看護ステーションで：宮崎和加子，5，479.
看護職へ与えられた宿題：柄谷重矢，5，482.
[ドキュメント]あの時，他に何ができたろう？——神戸協同病院看護部の場合，5，484.

●特別記事

徹底した感染症対策・日本とハワイの違い——ユニバーサルプリコーションの概念を中心に：西田好江・崎間和美，2，136.
アメリカにおける移植コーディネーターの現状——主役はナース：メモン 美加 蒔田，2，142.
看護学生だって就職難!?——神奈川県内の場合：田嶋美代子・倉田トシ子・上山悦代・浜野市子，3，

233.

看護から見た臨床心理職の国家資格化への動き：近澤
範子・大川貴子，3，240.

これからの少子・高齢社会を支えるために：田村やよ
ひ・川村佐和子・林千冬・足立紀子，4，360.

在宅支援病棟における看護——浦和市立病院さくらそ
う病棟の試み：中根晴幸・小原六子，4，374.

フォーカス・チャート——看護記録の簡素化：
Susan S Lampe・[訳]操華子，岩井郁子，4，
380.

高齢者ケアプラン——看護現場に生かせる“高齢者版
看護診断”：鎌田ケイ子，5，488.

看護の源泉をたずねて：真壁伍郎，6，571.

戦後50年一心の軌跡を辿る——平和こそ，看護の前
提：花田ミキ，8，769.

看護業務実態調査報告：日本医療労働組合連合会，9，
865.

えらぶ・えらばれる時代の医療と看護——メディカル
コーディネーターとしての活動：山中鈴美，10，
941.

看護は知恵，そしてぬくもり——震災下実践した看
護：徳田千恵子，10，946.

かわりつつある看護学生の就職先——アンケート調査
からみた中小規模病院の実態——神奈川県の場合：倉
田トシ子・田嶋美代子・上山悦代・浜野市子，10，
961.

ブラジルの看護事情——歴史的成り立ちと現状：
Taka Oguisso・[訳]阿部俊子，11，1036.

末期医療における看護者の刑事責任——いわゆる「東
海大学病院『安楽死』事件判決」を素材にして：加藤
久雄，11，1040.

臨床試験の現場で活躍する看護婦——欧米のシステム
から日本の将来を探る：新美三由紀，12，1153.

●特別インタビュー

滝野澤直子さん——でも、やっぱり歩きたい(番外篇)，
1，54.

マリア トルソンさん，4，401.

●研究と報告

口腔清潔法における細菌学的効果の検討：堀野歩美・
吉田園美・芳野恭子・工藤綾子，1，44.

喘息患者の外來吸入指導の現状と課題——神戸市立中
央市民病院での経験：岡本紀子・高野けい子・中山
富子・千葉三枝子・高野博子・石原享介，1，49.

阪神大震災でのボランティア体験記——実感した人の
つながり，生かされる喜び：川合房子，6，578.

ICU入室患者におけるストレスについて——145名の
アンケート調査による：近畿大学医学部附属病院集
中治療部，11，1057.

脊随性進行性筋萎縮症(SPMA)患者の在宅人工呼吸
器療法に向けての援助：済生会和歌山病院看護部，
11，1060.

●このひと'95

滝野澤直子さん／人気連載『でも、やっぱり歩きたい』
の著者，1，1.

榊原康博さん／白衣のメディカル・バンド「カウンター
ショック」のリーダー，2，97.

山崎美佐子さん／「尊厳死協会」リビングウィル110番
を担当する，3，193.

マリア トルソンさん／中国・新疆ウイグル自治区から
日本へ3回の看護留学，4，393.

黒田裕子さん／阪神大震災で医療・福祉・行政を一度
に実践，5，497.

川合房子さん／クレヨンと画用紙を持って被災地でホ
ランティアとして活躍，6，585.

黒川雅代子さん／被災地で福祉の知識の必要性を実感
しました，7，673.

木下真理子さん／奥が深く，やりだすときりがなく，
そこが看護に感じた魅力です，8，761.

松本憲貢美さん／ケア・ホテルの開業が夢—1343坪の
土地取得までこぎつけました，9，857.

山中鈴美さん／患者さんのすべてをひっくるめてコー
ディネート，10，953.

三島ミヤ子さん／災害看護は経験と知恵—スタッフと
ともにじっくりと築いていきたい，11，1049.

●ヤッたね看護——柳原病院の試み

⑩“人の役に立てる”が自立への道：斎藤宏子，1，2.

⑪男なら立っておしっこを！：斎藤宏子，2，98.

⑫補助器具導入でヤッたね！：遊馬益江，3，194.

●生体のメカニズム：大橋俊夫

③⑦[骨格筋・神経の生理学]⑤歩行の仕組みと運動麻痺，
1，4.

③⑧[骨格筋・神経の生理学]⑥物を覚えるのになぜドリ
ルが必要なのか，2，100.

③⑨[神経の生理]⑤血液型の性格分類が当たっているよ
うに思えるわけ，3，196.

●これだけは知っておきたい最新医療機器

①電気メス——旧くて新しい友：小野哲章，4，394.

②IABP——心丈夫な風船ポンプ：加納隆，5，498.

③医療ガス——意外に知られていない姿：渡辺敏，6，
586.

④除細動器——イザという時のために：小野哲章，7，
674.

⑤患者監視装置——異常をすばやくキャッチする命の
見張り番：加納隆，8，762.

⑥パルスオキシメータ——光で読み取るすぐれ者：渡
辺敏，9，858.

⑦ペースメーカーの基礎知識——その分類から電磁障害
まで：小野哲章，10，954.

⑧輸液ポンプ——正確な輸液はおまかせ：加納隆，11，
1050.

⑨人工呼吸器——高機能化しつづける命綱：渡辺敏，

● 短期連載——看護モデル・理論を臨床で使う：

池松裕子

- ①[その1] 看護モデルとその役割, 5, 505.
- ②[その2] マーサ E ロジャースモデルの臨床展開, 6, 593.
- ③[その3] 理論を正しく用いるということ, 7, 681.

● 看護相談学のすすめ

- ⑦話を聴く時に注意すべきポイント：広瀬寛子, 1, 62.
- ⑧看護相談からの発展——チーム医療の中での看護カウンセリング活動：広瀬寛子, 2, 156.
- ⑨看護相談の事例検討[その1]：宮本真巳・小宮敬子・渡辺外美子, 3, 252.
- ⑩看護相談の事例検討[その2]：沢崎玲子・宮本真巳・末安民生・小宮敬子, 5, 514.
- ⑪看護相談は状況を変えるか？：宮本真巳, 6, 602.
- ⑫看護相談を充実させるには？：宮本真巳, 7, 690.

● 探訪・Women's Movement：式田秀子

- ④自己決定権を求めて, 1, 80.
- ⑤心のこわばりを解きほぐす役に……, 2, 176.
- ⑥死ぬって大変!?——遠くて近いお墓の話, 3, 272.
- ⑦もっと知ろうよ自分の体, 4, 418.
- ⑧SOSを明るく解決——あなたはできる?, 5, 530.
- ⑨看護婦以外で自分はいったい何がやれる?——やりたいことをやってみよう!, 6, 618.
- ⑩“男社会”の大王にチャレンジ 7, 706.
- ⑪お産のホントの情報の広がり, 8, 802.
- ⑫等身大の新世代 Movement, 9, 898.

● あるべき自己を求めて——看護は自己創造の道：柳田正臣

- ①まず、自分を見つめ直すことからはじめよう, 1, 68.
- ②芸は身を助けるか, 2, 166.
- ③愛は惜しみなく与う, 3, 258.
- ④機関は人なり, 4, 406.
- ⑤医は果たして仁術か, 5, 520.
- ⑥医療は行政を超える, 6, 608.
- ⑦自分を見つめる機会, 7, 696.
- ⑧天上の星と内なる道德律, 8, 792.
- ⑨この職業を通じての新たな自己発見, 9, 888.
- ⑩見えるものにとらわれずその背景に学ぶ, 10, 984.
- ⑪現状を超えるところに自己発展はある, 11, 1080.
- ⑫生きるということは自己創造にはかならない: 12, 1176.

● ヒトゴトならぬバイオの世界：岩川真由美

- ①DNA と社長室, 1, 72.
- ②がんは遺伝する?, 2, 170.
- ③遺伝子治療と天然パーマ, 3, 266.
- ④HIV ウイルス——ずうずうしいったらありゃしない!, 4, 414.
- ⑤分子生物学でゾウリムシを見直そう, 5, 524.
- ⑥若さを永遠に保つことは可能な?, 6, 612.
- ⑦クローン人間誕生か?, 7, 700.
- ⑧巧妙な“プログラム死”のしくみ, 8, 796.
- ⑨どんどん進む遺伝子診断の技術, 9, 892.
- ⑩がんに対する遺伝子治療——アンチセンス, 10, 988.
- ⑪DNA による親子鑑定, 11, 1084.
- ⑫ゲノム刷り込み: 12, 1180.

● 老人看護展望——欧米研修より：阿部俊子

- ①抑制と徘徊ウソとホント, 1, 84.
- ②尿矢禁ケア, 2, 180.
- ③老人のセクシャリティをめぐる, 3, 276.
- ④いづこも同じ医療・福祉と負担の問題, 4, 422.
- ⑤ヨーロッパにおける看護診断, 5, 534.
- ⑥徐々に定着するトランスカルチャーナーシング, 6, 622.
- ⑦英国の老人医療と福祉制度, 7, 710.
- ⑧ケアスタッフ教育および看護管理の重要性, 8, 806.
- ⑨老人看護における看護婦の役割, 9, 902.
- ⑩褥瘡に関する研究的アプローチ, 10, 998.
- ⑪問題の多いペインコントロール, 11, 1094.
- ⑫もっと近寄って私をご覧ください 12, 1190.

● 援助場面からまなぶ家族看護学：渡辺裕子・鈴木和子

- ①家族と向きあう——援助しながらアセスメント, 7, 664.
- ②変化をもたらす援助とは, 8, 778.
- ③家族のきずなを深める援助, 9, 874.
- ④退院時の家族の不安への援助, 10, 970.
- ⑤家族の意思決定を促す援助, 11, 1066.
- ⑥家族の意思決定をめぐる看護職の苦悩: 12, 1162.

● 法でみるあなたの職場：加藤健次

- ①患者の自己決定権と医療, 7, 668.
- ②医療行為と医療従事者の責任[その1]——医療契約とインフォームド・コンセント, 8, 782.
- ③医療行為と医療従事者の責任[その2]——医療事故と民事責任, 9, 878.
- ④医療行為と医療従事者の責任[その3]——医療事故と刑事責任, 9, 974.
- ⑤医療行為と医療従事者の責任[その4]——医療事故を防止するために, 11, 1070.
- ⑥在宅医療の法的問題[その1]——なぜ「在宅」なの

か? : 12, 1166.

● 当世フェミニン事情——ゆるる女性たち : 高 昌 克子

- ①やり手デザイナー社長の挫折, 9, 850.
- ②私は「でも・しか」看護婦, 10, 994.
- ③瀕死のナルシスを愛しすぎた人, 11, 1090.
- ④人生なかばにして得た女性のアイデンティティ : 12, 1186.

● 買いたい新書

- ⑬影響力バググンのすてきなメディア——マンガにみる看護 : 杉山克己, 1, 78.
- ⑭『ニッポン貧困最前線 ケースワーカーと呼ばれる人々』——貧困と病氣, ケースワークと看護に共通点を見る : 若林チヒロ, 2, 174.
- ⑮『お産—男と女と 羞恥心の視点から』——助産における男女平等 主役不在の論議を考える : 小原裕子, 3, 270.
- ⑯『今話題のくすり 開発の背景と薬効』——私たち看護婦の知らないくすりの話 : 伊藤美樹子, 4, 390.
- ⑰『それでも人生にイエスと言う』——「人生に何を期待するか」から「人生は何を期待するのか」へ : 佐々木智子, 5, 528.
- ⑱『「世界一」の医療費抑制政策を見直す時期』——「ハードヘッド&ソフトハート, そして勇気」で流れを変える : 林千冬, 6, 616.
- ⑲『インフォームド・コンセント 患者の選択』——インフォームド・コンセントには医師—患者間のコミュニケーションが必要 : 一戸真子, 7, 704.
- ⑳『沖縄の保健婦たち』——沖縄の歴史, 土地柄とともに歩んだ活動の記録 : 杉山克己, 8, 800.
- ㉑『けやり通りの四季』——老いを支える福祉公社協力員と保健婦の記録 : 滝上宗次郎, 9, 896.
- ㉒『「脳死時代」の生き方と死に方』——明らかな矛盾をかかえつつ, なぜ脳死にこだわるのか : 早坂裕子, 10, 992.
- ㉓『エイズ犯罪—血友病患者の悲劇』/『薬害エイズ—原告からの手紙』——厚生省, 製薬企業, そして医師…本来の目的をよそに暴走していく社会の恐ろしさ : 若林チヒロ, 11, 1088.
- ㉔『家族を幸せにする老い方』——「愛」だけではたりない, 本当に介護は家族が担うべきなのか? : 柳在貞, 12, 1184.

● Current Nursing ピックアップ

- ⑩感情労働としての看護 : 武井麻子, 1, 58.
- ⑪痴呆性老人の転倒とケアの課題 : 北川公子, 2, 152.
- ⑫癌患者の Pain Management に関して看護婦が持つ知識 : 林直子, 3, 248.
- ⑬「組織文化」を知ることは, どうして重要な? : 豊増佳子, 4, 402.

⑭家族看護ニーズと実践活動——家族看護を実践している看護婦に対して行なった面接調査の紹介 : 鈴木和子, 5, 510.

- ⑮がん患者の自律を促すプログラム : 飯塚京子, 6, 598.
- ⑯アメリカにおける痴呆性老人専門のアダルトデイケアプログラム : 俣野とわ子, 7, 686.
- ⑰文化の異なる患者への看護 : 坂口千鶴, 8, 788.
- ⑱看護ケアの経済評価——入院患者の看護料金 : 金井PAK 雅子, 9, 884.
- ⑲がん患者の「不確かさ」について : 濱口恵子, 10, 980.
- ㉑仕事と健康・疲労・ストレス——生活過程を見つめるもうひとつの目 : 加藤圭子, 11, 1076.
- ㉒医師と看護婦のかけひき——Keddy Barbara らの研究から : 城生引美 : 12, 1172.

● Letter From

- ⑥[ワシントン]④子どもたちは今 : 美智子 レンデマン, 2, 162.
- ⑦[ペンシルバニア]②現実にはキビシイ~の話 : 松倉伸子, 3, 262.
- ⑧[テキサス]②ボーダーライン性格患者 : 横田京子, 4, 410.

● 私がストーマケアに魅かれる理由^{わけ} : 木村裕子

- ③ゼロからの再出発, 1, 88.
- ④病棟からの独立, 2, 184.
- ⑤独立, そして開業看護婦として, 3, 280.

● 私が手術室看護に魅かれる理由^{わけ} : 田中弘美

- ①手術室看護との出会い, 4, 426.
- ②新しき術式との取り組み, 5, 538.
- ③新人育成で教えられ, 6, 626.
- ④患者の姿に支えられて, 7, 714.

● 私がターミナルケアに魅かれる理由^{わけ} : 黒田裕子

- ①出会いのなから, 8, 810.
- ②真のターミナルケアを求めて, 9, 906.
- ③一般病院だからこそ, 10, 1002.
- ④この人を家に帰してあげたい, 11, 1098.

● 私がリハビリテーション看護に魅かれる理由^{わけ} : 高橋朝子

- ①『連携』をテーマに : 12, 1194.

● プツツン看護婦物語

- ㉖ト〜シのは〜じめの♪恥っかきの第 53 話, 1, 92.
- ㉗イライラの元を断つっ! の第 54 話, 2, 188.
- ㉘花子の家族看護学の第 55 話, 3, 284.
- ㉙月にかわってオシオキよお〜の第 56 話, 4, 430.
- ㉚ワンパクどもが夢のあとの第 57 話, 5, 542.
- ㉛ナース版「なくてナナクセ」の第 58 話, 6, 630.

- ⑤⑨○△×の世界はアタマがいた〜いの第 59 話, 7, 718.
 ⑥⑩やっぱり小さいのは嫌なのよの第 60 話, 8, 814.
 ⑥⑪ひとごとだからだいじょぶだあ〜の第 61 話, 9, 910.
 ⑥⑫あなたここになににににきたの?の第 62 話, 10, 1006.
 ⑥⑬あら, ホントに楽になったみたいの第 63 話, 11, 1102.
 ⑥⑭あら, あちらこちらに四角いリングの第 64 話, 12, 1198.

● BOOK REVIEW

- 「ナースが自分を知る本」フィリップ バーナード：清水幹夫, 1, 56.
 「最高の QOL への挑戦 難病患者ベンさんの事例に学ぶ」[編]ベンさんの事例に学ぶ会：田嶋長子, 1, 57.
 「痴呆老人のアセスメントとケア リアリティ・オリエンテーションによるアプローチ」ウナ ホールデン, ロバート ウッズ・[訳]川島みどり：天津栄子, 2, 150.
 「安楽死事件 模擬裁判を通してターミナルケアのあり方を問う」奥野善彦, 北里大学法学演習生・[編]奥野善彦：森美春, 3, 247.
 「臨床看護婦の自立 専門職としての技術・研究・実践」村松静子：藤谷理恵, 4, 387.
 「かたくりの花は散れど」関悦子・[編]柳田正臣：斎藤恵子, 4, 388.
 「看護技術の現在」(川島みどり著)：村松静子, 4, 389.
 「でもやっぱり歩きたい 直子の車椅子奮戦記」滝野澤直子：藤谷理恵, 8, 776.
 「忍冬のように 看護に生きたい」水上學：幸島佐代子, 8, 777.
 「看護教員としてともに歩む日々」土屋八千代：岡部恵子, 9, 854.
 「看護場面の再構成」宮本真巳：鈴木正子, 9, 855.
 「芸術と科学の出会い 音楽運動療法の理論と実践」野田燎：板東浩, 9, 856.
 「ナーシングインターベンション 看護診断にもとづく看護治療」[編]グロリア M ブレチェクほか・[監訳]早川和生：草刈淳子, 10, 969.
 「人が人に教えるとは 21 世紀はあなたに変革を求める」上田薫：賀川康子, 11, 1075.
 「クリスティーンのやさしい看護英会話」知念 クリスティーン, 上瀧真紀恵：小松奈美子, 12, 1144.

●学会記

- 第26回日本看護学会——成人看護Ⅱ分科会：治郎丸尚子・新倉恵美, 11, 1064.
 第26回日本看護学会——成人看護Ⅰ分科会：飯塚真喜子, 12, 1160.

●グラフ

- 同情するなら, 人をくれ! 金をくれ! ——“ナースウェーブ・AKI” 10・17 中央行動, 1, 12.
 聞いてください, 僕らの歌を! ——白衣のメディカル・バンド「カウンターショック」ライブ, 2, 108.
 介護教室, 自宅までおとどけます——訪問看護経験者のグループ「ふれあい」の取り組み, 3, 204.
 病院から在宅への架け橋は看護婦が主役! ——浦和市立病院さくらそう病棟, 4, 289.
 阪神大震災, その時看護は……——神戸協同病院の場合, 5, 433.
 「病院は癒しの場」を前提に——看護婦の意向を反映した病院作り・川口市立医療センター, 6, 545.
 「部門を越えてコンサルテーション機能を実践」——北里大学病院 OCNS の 1 日を追う, 7, 633.
 「病院から地域への架け橋に」——社会復帰病棟の挑戦, 8, 721.
 痴呆老人ケアに新天地開く——函館あいの里の理念と実践, 9, 817.
 伝えたいホントのナースの姿——コーラス・シティがおくるナース・ミュージカル「あした天使になあれ」, 10, 913.
 忍び寄る「災害」をにらむ——わが国初の広域災害対応医療施設, 国立病院東京災害医療センターがオープン, 11, 1009.
 元気キャンプ——病棟を巣立った子どもたちと一緒に過ごした, 特別な夏の思い出, 12, 1105.

●JJN 通信

- 救急認定看護婦(士)制度は日本看護協会とともに——第 22 回日本救急医学会総会開催, 1, 53.
 患者が過ごす空間に焦点——第 18 回日本死の臨床研究会開かれる, 1, 53.
 第 24 回「日本医学会総会」開催, 6, 601.

●らんだむアクセス

- ぼくパソコンつかえたよ, 1, 32.
 学校祭に禁断の企画を見た!?, 2, 126.
 お 1 人で来たのですか?, 2, 135.
 アカデミック症候群, 流行の兆し?, 3, 265.
 見えた, 看護婦の力, 4, 309.
 退院させないで, 5, 456.
 疼痛緩和が普及しないのはなぜ, 5, 509.
 在宅へ進出? これからの臨床工学技士, 6, 607.

●言いたいフォーラム

- “パソコンドクター”よ, さようなら：柳康之／こんな私でも, 看護婦ができる：アネロイド／精神的患者に悩んでます：箭子美奈子／あやうい私をどうする?：ウフフの匿名／3 交代, 夜勤も捨てたもんじゃない：熊谷佳代／足をひっぱらないで～：あしながおばさん／3 つの命のものがたり：木村恭子／燃え尽きて…でもやっぱり戻りたい：上原和子／命が

惜しかったら昼間受診を：THE TOKUMEI/キャンディキャンディをみてがんばってまーす：「剛&千春」大好きっ子/そりゃ、ないぜ~と思った：田中敏彦/中小病院で“ナースコールの鳴らない病棟”をめざす：斉藤裕子，1，94.

えらい違い——大学病院→個人病院：木下ゆき子/海外青年協力隊でインドシナへ：安田和美/こういうケア？もできるんだ：大谷あや子/二兎追跡中につき…：匿名/図書館大好き：鈴木寿恵子/地域にとけこめないナース，なぜ？：高倉雅子/クラブ活動で月いち老健施設訪問：田中一美/外来でがんばってるんだけど：原育子/私は婦長向きではない：杉岡たか子/居直りはどうかと思うなあ，准看さん：どうかと思うけど匿名/厳しさをハッキリ言うって難しい：三浦糸子/日本独自の看護を！：福田恭子/患者さんよりがんばってしまう私：布袋正子，2，190.

これが県を代表する病院の医師なのか！：余りのことに燃え尽きそうな匿名/やめたいと思っている人——ぜひ看護協会研修学校へ！：橋本安子/私も“研究”に対してひとこと：沢恵子/患者のえこひいきってあるかなあ：グチは匿名(に限る)/看護婦コトバってあるのねえ：横川恵/同じくコトバの問題なのですが：アネロイド/3Wほどアメリカで勉強してきました：角山尚美/私が民営訪問看護の仕事をやめたワケ：中村千代子/ボーナス出せ，とは言わないけれど：佐伯順子/ああ変化がほしい～：佐野露/ナースは2極分化する予感がする：山本淑子/看護士資格だけじゃ生きられない？：前園浩明/子をもって知る看護のココロ：森山美恵子，3，286.

“託児”つき研修会ってないの？：横山恵/同じく“子連れ”にはツレナイお話：佐竹典子/私も研修会に行ったんですが…：トホホの匿名/介護福祉士から看護の皆さんへ：林和宏/よかった！——重心児施設への就職：仰木春子/どうしてもお局様になっちゃう：山崎明美/納得できない柳田論文(新連載)：沢田智恵子/福祉と医療の間で悩む：小川由美子/素晴らしい指導教員！：堀尾靖恵/「どこの病院がいい？」：鈴木寿恵子/納得できなかった叔父の死：秋山みゆき/難しい正常・異常の判断：前田美子/わが娘へのエール：山北美子，4，397.

私たちの車椅子体験学習顚末記——直子さんに励まされつつ：兼沢あゆみ・北原章江・栗野利恵・竹重加奈子/“死”が受け入れられるようになった：猪上妙子/人を看取るといことは：細野弓子/お母さんのフルネーム：原沢伸江/このままだと，人を殺しちゃう：あわやの匿名/付添廃止いやその忙しいこと！：田代ひろ子/わたしの看護ライフスタイル：下平正子/地域の young ママに講義したゾ：木村恭子，5，501.

在宅介護方法を伝授：“ハローナースアイの皆さん”/人間くさい“理論”ってないかしら？：鈴木要子/こ

れが現代日本のできごとか!?:枕を高くして寝たいための匿名/93歳心不全に88歳の付添い：田中清子/Ptさん，病院は安心な看護を提供できないのです…：田中早苗/看護観とか，ふつう口にします？：木村美枝子/原因は男性優位社会にある：菅谷美枝子/コートをぬげ！：和田和子/絵手紙をあなたに：田代ひろ子/嫌々ながらやめられない：いつかスッキリやめるための匿名/もう読むのやめちゃうよッ：清水久枝/本音を言ってやめよう：宇野千代/放送大学卒業，次は修士課程へ：角田直枝/しょせんDrのアシスタント：小泉明子，6，589.

のんびりバラグアイ：新宮和江/熟女，ヒマラヤを行く：勝部夫美子/問題多い交替制勤務：西田牧子/えこひいき，あるある：多数を代弁して匿名/なんて素晴らしいご夫婦！：水沢典子/どっちがズレてると思う？：鈴木寿恵子/知ってる？この技・この工夫：柄谷亜矢・近藤いく子・リバロッチ，7，677.

おてあげ状態なんだわ：中田カナエ/就職難のプラス面：岡美智代/迫力満点“ホットゾーン”：谷川昭子/何となし…言葉にならぬボヤキです：はやとした匿名/知ってる？この技・この工夫：鈴岡洋子・鈴木寿恵子・木村恭子/いいことだけど，タダ働きはないだろうになあ：あたしだけじゃないはずの匿名/私にピッタリの職場みつけた：上田晴子/どうしたら超えられる？——二元論：哲学する匿名/私の作品——よい看護をしたときはよい絵がかけます：中村千代子/もう二度としません：ひたすら匿名/強烈！——ロスのリハビリプログラム：近藤いく子/男性にもっともっと門戸開放を：リバロッチ/なんとかならぬか，正看への道：岩崎英子/高学歴もいいが，忘れてもらっちゃ困ること：清原貞子/看護婦向きじゃないんだけどね…：篠原いずみ/人はなぜ，病院で死ぬか？：佐々木節子，8，765.

巨大児出産で危ない橋～：前田美奈子/これって“職業病”？：関谷たか子/ストレス→過食症→目下休職中：南田きくよ/やるせない患者への思い：深海由子/保健士第1号，ヤルぞお：新井信之/私も“ブツン看護婦”に参加させて：その他おおぜいの匿名/HTさんへの片道書簡：アネロイド/“男”のせいばかりじゃないよ…：林田和之/知ってる？この技・この工夫：谷口昌子/渡辺美里，だいすき♡：マイク離せぬ匿名/大病院指向と看護の本質：倉本昌子/“在宅”でも問われる看護の本質：平瀬真奈美/家族の問題ってむずかしい！：溝口アキ/サポートシステム完備ですばらしい成果：松原千加子，9，861.

ここは痔鼻科…ん？：和田和子/患者の自己決定と法との関係は？：品川美智/こんな院長がまだいるんだよ～：メスがこわいので匿名/鍼灸のおすすめ：溝口あき/あなたならどうする？：田中美奈子/看護PRができればいいね：柄谷亜矢/異常気象と情緒

の関係について：樋口キミ子／君にもできる保健・医療・福祉の統合：林和宏／これぞ洗髪のプロ！：MY／私たちのトライ＆トライ——音楽療法で地域に開く：浜田千津子／なんで給料に差が…：気のヨワイ匿名／これって看護婦のしごとかな：遠藤美沙子／知ってる？この技・この工夫：樋口キミ子・柄谷亜矢・原沢伸江・林和宏，10，957。

やむなく関付き添い，なんのための付き添い廃止？：絶対的匿名／准看廃止して介護福祉士養成を：草薙京子／バレーボール選手から，転身！：坂井恵美／看護婦の熱いおもいを小説に：小田佐代／電話相談のジレンマ：鈴木寿恵子／鈴木寿恵子様：宮本真巳／離れてわかる看護婦の魅力：故笑知／患者の秘密に触れること：竹内綾子／仕事より遊びで疲れる

私って…：ゴクラクトンボ／【会員募集中】——『日本の医療を考えるフロンティアの会』：半沢晴子，11，1053。

患者不在の看護診断？：おおそれながらの匿名／この児の未来に切ない思い：田中美奈子／“子宮”さんごめんなさい：あわてて匿名／だれもわかってくれない：左千津子／なんでこんなに差があるの：チューリップ／丹沢さんのイラストが富良野“ニングルテラス”に／癒しの必要な時代：柄谷亜矢／季節はずれの話題ですが……：佐野露／宗教は“癒し”か“妖し”か：迷える匿名／なぜか10年ぶりの学生生活：遠藤美沙子／ボケた母を看取ってまなぶ：清水良枝／たとえ骨髄バンクがあっても：木村恭子，12，1149。

❖ ナースがアサーティブに生きるためのトレーニング書 ❖

ナースのためのアサーティブ・トレーニング

さわやかに自分を主張する法

Melodie Chenevert: Special Techniques in Assertiveness
Training for Women in the Health Professions 3rd ed.

訳 藤田敬一郎 コミュニケーションスキルセンター・地域活動研究所代表
杉野元子 看護組織開発研究所(MOTOCOM)代表

●A5 頁240 1994 定価2,472円(税込) ¥400 [ISBN-260-34127-8]

卑屈にならずに，しかも相手を傷つけずに自分を主張するために！

本書は，保健医療の世界で働く女性を対象としたアサーティブ・トレーニングの本である。卑屈にならずに，また相手に対して攻撃的にならずに自分の考えを伝える方法を，実例を交えながら，わかりやすく，楽しく解説している。

医学書院

■ 看護学研究と臨床看護研究の基本用語を解説した初めての事典

看護研究用語事典

A Dictionary of Nursing Theory and Research
by Bethel Ann Powers, Thomas R. Knapp

監訳 内海 澁 千葉大学教授・看護学部

看護学を学問的に研究しようとするときや，臨床看護研究を行うに当たって，よく使われる用語を基本から立ち戻って，本来の意味と現在の意味とを併記してあるので，用語の正しい使い方を知ることができる。「理論」「モデル」「仮説」「概念」など理論研究の基本用語から始まり，「グラウンデッド・セオリー」「エスノメソドロジー」「現象学」など最近の用語，また研究に使われる統計学の基本用語など，約230語について解説した，「読む事典」である。用語の意味の理解と確認に最適の事典といえる。初めて研究に当たる人や，また臨床研究を行っているナース，そして教育や研究に携わる方々にも，用語の意味の理解や再確認に役立つ。

●四六判 頁184 1994 2,472円(税込) ¥400 [ISBN4-260-34123-5]



医学書院

1113-91 東京・文京・本郷5-24-3

03-3817-5657 (お客様担当)
03-3817-5650 (書店様担当) 振替 東京 7-96693